

## 「第 13 回道路橋床版シンポジウム」の開催予告と論文募集のご案内

鋼構造委員会では、令和3年10月より道路橋床版に関する第7期目の技術委員会として「道路橋床版の設計の合理化と長寿命化技術に関する調査研究小委員会」(委員長: 東山浩士(近畿大学))を立ち上げ、約3年間の活動を進めています。

第7期小委員会では、①床版設計の合理化や材料劣化に対する耐久性向上技術、②点検調査技術、防水・舗装、補修補強に関する最新技術、③橋面コンクリート舗装(新材料や新工法の適用を含む)による床版の長寿命化、などについて調査研究を行い、その成果を委員会報告書として取りまとめています。

第13回道路橋床版シンポジウムは、当小委員会の活動成果報告に加え、「道路橋床版の設計手法、新材料・新技術、点検・診断技術、補修・補強技術、劣化・損傷事例、メンテナンス・アセッドマネジメントなど、またこれらに関連する最新の研究・技術を共有する目的で開催するものです。つきましては、各関係機関の研究者、技術者、学生など多数の方々にご応募いただきたく、下記の通りご案内申し上げます。

### 記

- 主 催 : 公益社団法人 土木学会  
(担当: 鋼構造委員会 道路橋床版の設計の合理化と長寿命化技術に関する調査研究小委員会)
- 日 程 : 2024年10月31日(木)・11月1日(金)
- 会 場 : 土木学会 講堂および A・B 会議室  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)  
(オンラインも併用したハイブリッド形式となる予定です)
- 参加費 : 会 員 11,000 円(税込)  
非会員 13,200 円(税込)  
学 生 5,500 円(税込)  
(委員会報告書、シンポジウム論文報告集(DVD)代を含む)  
\* シンポジウムへの参加申込要領は、2024/8月号の「会告」に掲載される予定です。  
鋼構造委員会の HP に最新情報を掲載致します。  
<https://committees.jsce.or.jp/steel42/>
- 論文または報告のテーマ:  
道路橋床版(既設および新設)における、以下のテーマに関連する内容を募集します。
  - ・設計手法の検討事例
  - ・新材料・新技術の適用
  - ・劣化・損傷の事例(調査結果、分析結果等)

- ・点検技術や診断方法の活用
- ・実験または解析による材料劣化や力学特性などへのアプローチ
- ・補修・補強に関する施工事例、工事報告、新技術の開発
- ・維持管理手法、アセットマネジメントなど

● シンポジウム論文の形式 :

「論文」のフルペーパーは A4 版で 6 ページ、学術的または技術的に価値のある論文で、かつ未発表のもの

「報告」のフルペーパーは A4 版で偶数ページ(4 ページまたは 6 ページ)、技術的価値の高い、または資料として有用性のある工事報告、調査報告など

★ フルペーパーの書式フォーマット(docx)は、追って当小委員会 HP にて公開いたします。

<https://committees.jsce.or.jp/steel42/>

● アブストラクト申込方法 :

下記の当小委員会のホームページから、アブストラクトの申込みをお願いします。

- 1) 小委員会 HP <<http://committees.jsce.or.jp/steel42/node/15/>> へアクセス
- 2) 下記の必要事項(1)～(6)をご記入後、最下段の【送信】ボタンにて申込み完了

(1)「論文」または「報告」の区分

(2)タイトル

(3)発表者名, 連名者名

(4)ご所属と連絡先

(5)アブストラクト(和文 200 字以内、英文の場合 100 words 以内)

(6)キーワード(2,3 語程度)

● 応募締切 : アブストラクト申込締切 2024 年 5 月 17 日(金) 17:00【WEB 申込】

★ アブストラクト申込みをいただいた方へは、当小委員会内にて審査の上、数週間内に「シンポジウム論文作成要領」を E-mail にて送付いたします。

★ フルペーパーの投稿【WEB 投稿】の締切は、2024 年 7 月 12 日(金)の予定です。

● 査読と採択通知 :

ご投稿いただいたフルペーパーについては、当小委員会が選任した学識者・専門技術者による査読を行った上で、講演論文集への掲載可否や修正意見を、E-mail にて主著者に連絡いたします。

● 問合せ先 : 道路橋床版シンポジウム担当

E-mail [d-syoban "at" ml-jsce.or.jp](mailto:d-syoban@ml-jsce.or.jp) (“at”を@に変更して下さい)